

**自由民主党
京都市会
議員団ニュース**

平成25年(2013)3月31日発行

■発行人/津田大三 ■編集長/山本恵一・田中明秀
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.41

海外へ調査研究

議会を代表し相次ぎ派遣

から10日間、環境先進国で

**ドイツ
スペイン**

自民党議員団は将来的な脱原発をめざし、持続可能なエネルギー社会の構築、また再生可能エネルギー政策の推進の

京都市の政策に活かす取り組み

再生可能エネルギー

環境先進国に学ぶ

あるドイツ、スペインに4

名調査派遣しました。主な調査研究項目は、環境・経済両面の森林政策、木質バイオマス、原発の廃炉工程、太陽光発電、農畜産業との連携によるバイオ

マス、風力発電、小水力発電、発生熱量を有効利用するコージェネレーションシステム、それぞれの取り組みをネットワーク的につなぐ都市計画、エネルギー消費割合が大きい冷暖房の熱交換率を抑制する省エネ改修政策を中心に幅広く視察しました。これら調査研究



再生可能エネルギーを推進するヴィルボルツロード村(ドイツ)



道路に設置したガントリーという課金ゲート(シンガポール)

ロードプライシング 導入への課題探る

**シンガポール
ロンドン**

門川市長が2期目の出馬にあたり、市民と約束したマニフェストにおいて、「混雑する道路に進入する車への課金制度(ロードプライシング)導入

に向けた社会実験の実施」を掲げており、この制度に関する先進国の取り組みや、交通体系の中の位置付けについて、去る1月30日から2月8日まで、シンガポール、ロンドン、ミラノの3都市で調査を行いました

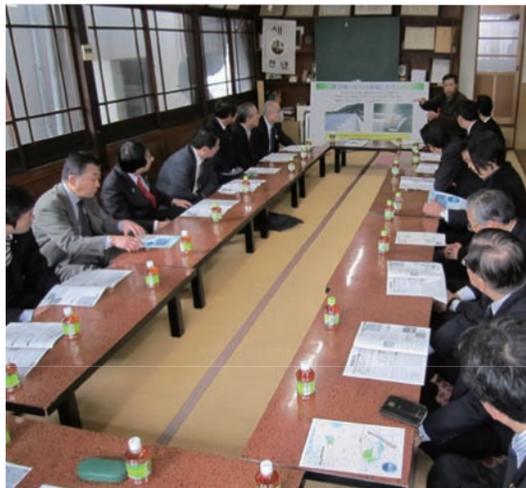
た。シンガポールでは最も早い時期にこの制度を導入し、当初はマンパワーによる規制を実施していましたが、主に人件費の問題により、1998年より電子的に課金する現行のシステム「ERP」が導入されました。ロンドンでは1963年からこのシステム導入の検討を始め、2003年より規制エリア内で1日単位の課金を行うエリアプライ

調査の結果、この制度の導入にあたっては、いかに地域住民の理解を得ていくかということが課題であり、また政治的リーダーシップが必要であると考えます。



一級河川内で国内初の小水力発電設備(嵐山)

早速、京の事業視察 嵐山の小水力発電設備



嵐山保勝会で小水力発電設備について説明を聞く自民党議員団

再生可能エネルギーの海外行政調査をうけて2月22日、自民党議員団は嵐山保勝会が管理運営する小水力発電設備を視察してまいりました。

この発電設備は、2005年12月8日竣工した一級

河川区域内に設置した国内初のケースであり、右京区と西京区を結ぶ渡月橋の常夜灯をこの発電設備で賄っています。余った電力は関西電力に売電し、現在90万円の収益をあげ、維持管理費に充てています。また、京エコロジーセンターの平成16年度環境先進モデル事業に採択されています。

を精査し、消費エネルギーを削減し、再生可能エネルギー比率を高めるためにも、ドイツのように「環境に取り組みと得をする」という市民感覚が広まるよう京都市の政策に活かすべく議会として取り組んでまいります。

国の経済対策京に効果

中小企業の下支え

短期つなぎ資金創設も

富きくお議員 (山科区)

富きくお議員 (質問) 昨年

末の総選挙において、第二次安倍内閣が成立しました。経済再生が最大かつ喫緊の課題であり、大型補正予算や緊急経済対策を策定しましたが、国・地方自治体・市民の間を循環し、日本全体に活力を生み出さなくてはなりません。今回の安倍内閣への期待と、経済対策の本市における波及効果について、どのようにお考えですか。また、「京都の

強み」を活かした新しい産業の創出や厳しい経済環境にある中小企業の下支えにどう取り組んでいかれますか。

門川大作市長 (答弁) 安倍新内閣の「三本の矢」は京都経済の成長にとっても、極めて重要な経済政策です。市内中小企業への公共事業の受注機会を拡大し、地域内で循環させることで、国の経済対策

の効果を京都のすみずみにまで波及させます。新たな成長分野である環境・エネルギー分野で一層強力で創出を推進すると共に、中小企業の下支えのため「再生支援融資」の中に短期つなぎ資金創設など万全を期してまいります。

中国の大気汚染 影響懸念に対応

富きくお議員 (質問) PM

2・5など中国からの大気汚染の影響が懸念されていますが、市民の健康を守るため情報提供をメディアなどを通じて行うべきと考えますが、どう取り組んでゆかれますか。

門川大作市長 (答弁) 濃度測定を市内6箇所で行い、市のホームページで毎日公表しておりますが、更に6箇所増設し監視体制を強化するとともに、国

富きくお議員の質問項目

- ・安倍政権への期待、経済対策の京都市への波及効果
- ・中小企業の経営強化
- ・京都市の公共事業
- ・社会保障費および子育て支援の充実 (本市の福祉予算の実情)(子育て支援の充実策)(保育士の確保やその処遇改善)(生活保護等の適正化)
- ・環境問題 (バイオディーゼル燃料化事業及び生ごみのバイオガス化事業)(中国からの大気汚染の影響)

代表質疑

2月 定例市会 2月26日



京都の姉妹都市西安市のPM2.5による大気汚染

の指針に基づく注意喚起情報を発表し、学校や保育所、福祉施設等1400箇所に対し一斉に周知できるよう準備を

子育て支援策の更なる充実図る

富きくお議員 (質問) 本市

の保育環境は全国でもトップクラスです。待機児童解消のための保育所整備や延長保

育・一時保育等きめ細かな施策の充実を図り、保護者負担も国基準を大幅に下回る水準に抑えられるなど評価するものです。今後、子育て支援の充実をどのように図られますか。

3箇所を含む7箇所の保育所整備をはじめ、病児保育や延長・一時保育の拡大、発達障害などのある子ども達へのよりきめ細やかな保育とともに、子ども医療費支給制度の充実等さらなる子育て支援策の更なる拡充を図ります。

水道料金改定の基本的考え方は

加藤盛司議員 (質問) 老朽

交通事業の再建見通しは 健全化計画着実に 人件費、コスト削減図り

加藤盛司議員 (中京区)

加藤盛司議員 (質問) 市バ

ス・地下鉄事業については、一部民間委託化、職員の給与カットなどコスト削減を進める

た実績を評価した上で、25年度予算の評価と、今後の交通事業の見通し、展望をお答え下さい。

ピーク時に163億円あった累積欠損金を2億円まで減少させ、計画よりも2年前倒しで経営健全化団体から脱却する一方、地下鉄事業では、1日当たりの赤字を市長就任前の4600万円から1700万円まで縮小するなど、計画を上回る収支改善を推進する予算編成となりました。今後

は、1日5万人の増客と経営健全化計画の着実な推進に向け、市の総力を挙げて取り組んでまいります。



事業健全化へ全面開業した地下鉄京都駅改札前のコチカ京都

加藤盛司議員の質問項目

- ・平成25年度予算案の編成方針の考え方
- ・市バス・地下鉄の再建の見通し
- ・水道料金改定
- ・屋外広告物の取組の現状と来年8月までの見通し
- ・横大路と西京極運動公園の整備方針

も引き続き人件費やコストの削減に努めるとともに、市バス事業では3年以内に補助金に頼らない自立経営の確立を目指し、また、地下鉄事業で

認知症総合支援どう推進

医療と介護の連携

気づき・つなぎ・支える

山本恵一議員 (北区)

山本恵一議員 (質問) 「地域で気づき・つなぎ・支える」認知症総合支援事業」が予算に盛り込まれ、相談マニュアルの作成等に取り組みこととされましたが、住み慣れた地域でいつまでも住み続けるためにも、この事業は大変重要なものと考えます。これを具体的にどのように進めていくのか、早段階での「気づき」を促す相談ツールとして、認知症かどうかを気軽に調べることでできるセルフチェックシートを作成するとともに、高齢サポート等の相談対応力向上を図る「認知症相談支援マニュアル」によって「つなぎ」を強化し、

更には、地域の「支える」力を強めていくため、医療と介護の連携による先駆的な取り組みをモデル事業として実施するなど、総合的かつ重層的に展開してまいります。

自信と誇りある京野菜の振興策

山本恵一議員 (質問) 今後とも農家が自信と誇りを持つて京野菜の生産に取り組めるよう農家の栽培技術の向上など京野菜の振興に大きな役割を果たしている市内の品評会

京野菜が出品された京都市農協の農産物品評会



京野菜が出品された京都市農協の農産物品評会

や共進会に対して、また栽培が減少している貴重な京野菜に対して、どのような支援をお考えなのかお聞かせ下さい。

門川大作市長 (答弁) 25年度は京野菜専用ホームページを開設して品評会の情報や京野菜の素晴らしさを発信するほか、地元産野菜等を専門に

扱う卸売場を設け、中央卸売市場に新たに開設する「京の食文化ミュージアム・あじわい館」でも、京野菜の魅力を発信してまいります。

山本恵一議員の質問項目

- ・開かれた学校づくりの推進
- ・地域における医療介護等の関係機関との連携体制
- ・京野菜の振興策
- ・市内産木材の需要拡大
- ・地域防災の要である消防団の活性化
- ・災害時における袋路の避難対策
- ・御園橋幅幅による交通渋滞の解消(要望)
- ・京都マラソンの成功に向けて(要望)

「開かれた学校づくり」を推進

山本恵一議員 (質問) 学校・家庭・地域の更なる連携の下、「開かれた学校づくり」の取り組みを一層進める事が、直面する課題にも、将来を展望した本市教育の構築にも、大きな礎になると思えますが、教育長のお考えはいかがでしょうか。

生田義久教育長 (答弁) 育てたい子ども像を共有し、「子どもたちのために何ができるのか」を共に考え、様々な活動を通して学校運営に参画する学校の応援団として、本市独自の学校運営協議会制度を創設して、学校・家庭・地域のさらなる連携により、しっかりとした役割分担の下に互いに足りないところをそれぞれが補い合い、互いに高め合うための「開かれた学校づくり」を推進してまいります。

各区役所が最前線基地に

大規模災害時の要

対応力の一層向上を図る

下村あきら議員 (下京区)

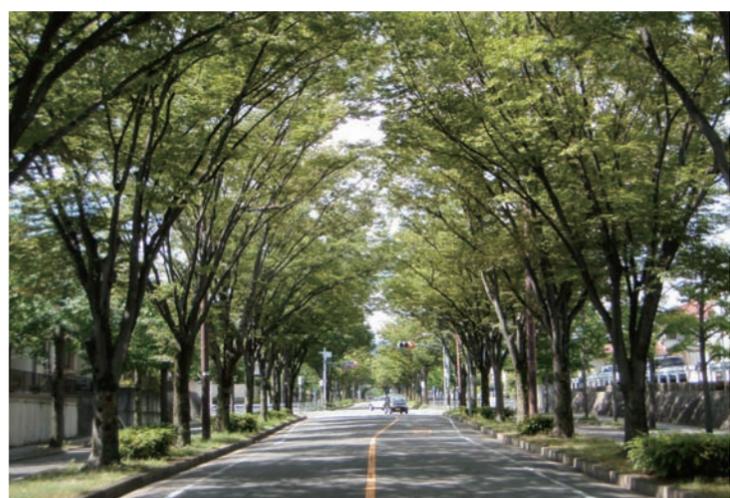
下村あきら議員 (質問) 大規模災害時に区役所が最前線

基地としての役割をきっちり担えるよう、その初期初動対応マニュアルを作るなど、地元の取り組みと平行して準備しておくことが幾つかあると考えますが、いかがですか。

門川大作市長 (答弁) 避難所運営につきましても、発災直後など地域の皆様で運営していただく場合であっても出来るだけ早期に区役所による総合的な支援を行うことが必要不可欠です。このため、連絡調整、食糧や水の提供、要配慮者への支援、避難住民の健康管理等あらゆる課題に迅

下村あきら議員の質問項目

- ・京都マラソンにおける消防警備体制
- ・大規模災害時における避難所運営に対する区役所の体制
- ・安心安全なまちづくりへの取組
- ・「歩くまち京都」の推進
- ・都市緑化の推進に向けた取組
- ・地域発の観光おもてなし
- ・技能労務職の採用



緑豊かな新林本通のケヤキ並木

速かつ的確に対処するため、区役所職員の役割分担や手順をまとめたマニュアルの整備に取り組むとともに、区

門川大作市長 (答弁) 「京都市緑の基本計画」

役所の災害対応力の一層の向上を図ってまいります。

都市緑化の推進 縦割り行政排除

下村あきら議員 (質問) 他都市では、緑視率による緑の量による優遇措置等の誘導策があり、本市でも緑視率による取り組みを更に行っていくべきと考えます。また、更に都市緑化を推進していくためには、所管法令による縦割りのな取り組みを改めるべきと考えますが、いかがですか。

を策定し、目にする緑の量を数値化した「緑視率」を採用しております。25年度予算では、前年度予算の約10倍にも上る4億4千万円を計上し、花と緑あふれるまちづくりを強力に推進してまいります。また、緑化の推進に当たっては法令ごとの縦割り行政を排除し、緑に関する庁内の連絡体制の更なる充実を図り、全庁一丸となり取り組んで参ります。

地域力生かした観光政策の構築

下村あきら議員 (質問) 市長は観光客5千万人に変わり5千万人感動都市という新たな目標を立てておられます。市民発、地域発の取り組みと観光産業をマッチングさせることで地域のエネルギーを活かした持続可能な観光モデル構築をするべきと考えますが、いかがですか。

塚本稔副市長 (答弁) 25年度予算案においては「地域と事業者とのマッチングによる地域連携観光の推進」事業を提案しており、本事業の実施の際には、議員御提案の趣旨を踏まえ、各区の取り組みを通して培われてきた住民の皆様の地域への愛着、誇りの上力や集客力を加えることで、京都ならではの地域力を生かした持続可能な新しい観光モデルを構築してまいります。

日本酒で乾杯する習慣を広め、清酒の消費拡大と**伝統的な日本文化の理解促進を図る**ため、自民党市会議員団提案の「乾杯条例」が今年施行されました。京都の伝統産業の未来を切り拓き、京都から日本文化を世界に発信しなければならない。自民党市会議員団ニュースは、「伝統産業の振興」について、22人一人ひとりのコメントを特集しました。

小林 正明 北区



伝統産業は京都人の生活の中にも数々生きづいていきます。伊勢神宮の式年遷宮にみられる様に式典やその職人技術の継承等継続が有意義。

山本 恵一 北区



歴史的京都の伝統産業振興策の成果が、「乾杯条例」であり、多様な取組を着実に実践して、時代に先駆ける政策の模範となろう。

中村三之助 上京区



京都の人々は何ものづくりの心を大切に守り続けてきました。「京都市伝統産業活性化推進条例」を更に推進し同時に伝統文化も守って参ります。

寺田 一博 上京区



伝統産業は京都力の源です。大量生産・大量消費の現代社会において「ほんものを大切に作る心」を育み定着させることが必要となります。

大西 均 左京区



乾杯条例が成立した。酒に特化せず、かつ一過性とするのではなく、乾杯の発声に日本の歴史と文化に想いを馳せ、京都の伝統産業への振興に寄与させてゆきます。

桜井 泰広 左京区



日本人が大切に守ってきた「伝統や文化」を再認識するという乾杯条例の主旨を踏まえ、京都から世界に向かって匠の技を発信!!

加藤 盛司 中京区



千二百年の悠久の歴史の町京都。何代にも受け継がれてきた技術から生み出される伝統産業品は日本の宝。今こそ巧みの技を広めます!

津田 大三 中京区



京都の伝統産業は「ほんもの」を伝える大切なものです。伝統文化と接する機会を増やすことで、市民の皆様と未来を共に考えて参ります。

内海 貴夫 東山区



力強い京都経済の再生と雇用創出には伝統産業「京もの海外・国内市場開拓事業」の推進が必要です。議会と行政の連携を深めます。

富 きくお 山科区



千年以上、都の公家や家元等、一流の使い手に磨き上げられた技と美を現在のニーズにどう活かすか。大胆・柔軟な発想と挑戦が必要。

吉井 あきら 山科区



歴史と文化に育まれた京都の伝統産業!! 未来の京都、子どもたちのため、守り発展させるべくあらゆる手段で取り組んでまいります。

京都の伝統産業振興

自民党市会議員団22人に聞く

下村 あきら 下京区



京仏具、京扇子等、今も脈々と継承される京都市の73品目に指定の伝統産業。様々なライフスタイルの中に根付く振興に取り組んで参ります。

棕田 隆知 南区



伝統産業は云うまでもなく京都の宝でありますが、生活様式の変化による衰退存続の危機にあり、未来の為に適切に対応すべきです。

島本 京司 南区



京都の農林畜産や建築技術、町工場の製造品質やサービス業務品質等々も重要な伝統産業であり、地域経済全ての活性化が必要です。

井上 与一郎 右京区



平安時代から長きにわたり、都としての独特の文化を支えてきた技術を守り、伝統産業の振興のためには暮らしの中で身近なものとするのが重要です。

山元 あき 右京区



昔は「使い捨て」は最高の贅沢でした。良い物を長く大切に使う事がつましやかで美しい生活の知恵である事を再認識しましょう。

田中 明秀 西京区



「京料理・和食文化」をユネスコの無形文化遺産に！伝統産業、技術の継承者が誇りの持てる環境を作ってまいります。

西村 義直 西京区



担い手不足や生活様式などの変遷により厳しい局面にある京都の伝統産業ですが、普及啓発に全力で尽くします。

高橋 泰一郎 伏見区



誇り香るふる里の味覚、心ちよき気分を醸し出す清酒の需要拡大と明日への思いに夢を託してオール会派で発信したことに満足する。

繁 隆夫 伏見区



身近な存在である伝統産業製品を、日々の暮らしの中で積極的に活用することから伝統産業界の振興に繋がると確信している。

橋村 芳和 伏見区



伏見は酒どころ。ジャパニーズ・サケは世界で愛されている。自民党提案で「清酒普及」条例を施行。更なる振興を！京都の清酒で乾杯!!

中川 一雄 伏見区



世界に誇る京都の基盤産業である伝統産業の活性化を図るため、伝統産業技術の保存と育成、拠点施設、機能充実の積極的な展開が必要。

〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
 jimmin3@nifty.com
 FAX.257-3091

皆様のご意見・ご要望をお寄せ下さい。